

J R 東海労申第 1 7 号
2 0 1 9 年 1 1 月 1 日

東海旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 金子 慎 殿

J R 東海労働組合
中央執行委員長 木下 和樹

台風 1 9 号接近に伴う計画運休実施に関する申し入れ（3）

台風 1 9 号接近に伴う計画運休実施に関しては申第 1 4 号、1 5 号で申し入れているが、下記の通り追加申し入れを行うので、団体交渉を開催すること。

記

1. 台風 1 5 号、1 9 号と短期間のうちに猛烈な台風が日本列島に襲来し、特に台風 1 9 号が接近、上陸した 1 0 月 1 2 日は極一部の列車を除き、全面運休という大規模な計画運休となった。計画運休実施で浮き彫りになった今後の課題について明らかにすること。
2. 猛烈な降雨により計画運休を計画せざるを得ない状況では、鉄道施設の浸水被害も予想される。台風 1 9 号襲来により J R 東日本の長野新幹線車両センターに留置していた車両が水没した。
報道では、「国土交通省が全国の新幹線車両基地と留置線計 2 8 カ所のうち 1 6 カ所で、全てか一部が浸水想定区域内にある」と明らかにした。また、国土交通大臣が衆議院国土交通委員会で「浸水の影響の大きさや、対策の有効性などについて鉄道事業者に検証作業をさせている」と述べている。この報道に関して、J R 東海管内の新幹線車両基地及び留置線の浸水リスクを明らかにすること。
3. 報道では、「J R 東海が東海道新幹線の車両基地などの浸水対策を強化する方針を発表した」とされている。この報道が事実だとすれば、想定している被害、具体的対策、対策完了までの期間、対象基地等を明らかにすること、

以 上